

学校教育目標	めざす児童の姿（中期的目標）	総合評価
考える子	1 一人で、みんなで考えられる子	新型コロナウイルス感染症が5類となり、外へ出ていく活動、交流活動、お話を聞く学習などが再会でき、目指す児童の姿に近づけることがしやすくなっている。一人で考え、その後みんなで考えるという話し合い活動もしやすくなった。みんなで話し合う活動が思う存分できるようになったため、成果として挙げている職員も多かった。学んだことや取り組んだことが、家庭に伝わっていないという実態もわかった。情報発信もしながら、家庭でも話題にあげてもらう工夫の必要性も感じている。今年度より保護者にも7月と12月の2回アンケートを実施したことは、意識の変化を探るうえで良かった。
心の美しい子	2 自他の良さを感じられる子	
たくましい子	3 1人で、みんなで心と身体をきたえる子	

今年度の重点目標		成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
①	学ぶ楽しさが味わえる授業	3年生以上の学年で、単元を限ってではあったが、教科担任制を導入し、他クラスの授業を行った。職員の得意分野を生かすことで、児童も学ぶ楽しさを味わうことができたのではないかと感じている。		○			学年職員の構成や専科授業との兼ね合いで、この授業を必ず行うと決められない部分もあるが、教科担任制の継続をし、実施する教科や時間数の拡大を行っていく。
②	みんなとつながる活動	1時間の授業の中で、体験的な活動やグループ活動などを意識して授業を仕組めた。今後もペアでの学習を多く取り入れ、関わりを多くしていく。	○				新型コロナウイルス感染症が5類になったことでグループ活動や座席配置の工夫等、環境的な工夫もしやすくなってきているので、クラスの実態に合った座席配置などをしていく。
③	心と身体を育む体験・交流	ふるさと学習や交流学習をたくさん再開することができた。養護学校との交流の再開、山本鼎先生の学習、命の学習、目の見えない方のお話、バイパスや神川橋工事見学など今年度ならではの活動もできた。	○				バイパス工事で神川橋建設が進んでいる。今でしか見られない、体験できない活動については、体験の機会を逃さずにし、貴重な体験ができようようにしていきたい。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
学校教育	学習指導	学習の基本	①「神川スタンダード」全学級で大切に学習の基本の実行	ねらいの明確化、見通しをもった授業、振り返りの充実を常に意識しながら、マグネットを使って黒板を見やすく板書でき、各クラス学習の基本が定着してきている。 1学期の反省から終末の時間を意識してきたが「ふりかえり」「みとどけ」までできないことがあった。		○			神川スタンダードの見直しは毎年行っていく。今後も継続して学習の基本を意識していく。担任が、45分間の見通しをしっかりと持っていることが必要。「ねらい」「めりはり」「みとどけ」を大切に意識していく。
		学習環境	②「学習のユニバーサルデザイン化」児童の学びやすさの具現化 （「個に合った学びの場の提供」「多様な学習形態・座席配置・ペアグループ・複数教員・教科担任制による児童指	教科担任制の授業が3年生以上の学年で実施できた。新型コロナウイルス感染症が5類となったため、机を合わせたペア学習やコの字型の机の配置など各学年・学級の実情に合わせたスタイルを取り入れられたことが良かった。		○			学習の個別化は、多様な支援が必要であり、まだまだ教師側の準備や研究の余地があり、踏み出せていない職員も多い。個別最適な学びを進めていくにはどのようにしていくのが良いのか、職員研修等で学んでいく。
		ICT端末の利用	③「一人1台端末」自ら調べ・自ら整理し学ぶ子への支援ツールの活用をしているか。	学年が上になるほど活用が進み、1日1回は活用する機会が生まれている。学年ごと、ICTの活用目標を設定し、低学年から少しずつ慣れていった成果が出てきている。6年生の英語では、他校とオンラインで交流学習を行うことができ、新たな活用方法が提案できた。		○			ICTを使えたかどうかではなく、効果的な活用であったか、有効性はどうかであったかという観点でも検証していく。調べ学習をしたり、まとめたりした学習の成果をデジタルで発表する場を増やしていく。
		多様な動きの習得	④「身体みがき体操」「運動の場づくり」	身体みがき体操を朝の会に取り入れ、日常的に行っている。2か月に1度、講師の先生に指導していただいたことが良かった。体育集会の取り組みにより、体がやわらかくなりたい、前よりもできるようになったという意識を児童たちが持っていた。		○			遊びの中で自然に身につけている児童と、そうでない児童との二極化が見られる。玄関前に、ペイントでケンケン遊びができるポイントを作った。このような場所を、限られた空間の中でさらに増やしていく。
		その他	⑤スタートカリキュラム、登校指導、MIM、読みを先行した学習実践 ⑥「学びのとびら」活動紹介	学年掲示場所の「学びの扉」を1月のペースで表示を変え、児童の学習成果を張り出すことができた。		○			スタートカリキュラム、MIMの学習実践などは低学年の一部の学年の学習活動となるため適切な時期に遅れてしまうことがあった。MIMについては、朝会で短時間学習するなど、日常的に取り組んでいく方法を模索していく。
生活指導	あいさつが響き合う学校	⑦「あいさつ」「なかよし学年」を中核に据えた児童会活動の実践	企画運営委員会では、年間を通して朝のあいさつ活動を実施した。少しずつあいさつの輪が広がっていると感じる。児童たちの自発的な活動ができたことが良かった。		○			あいさつを返せない児童、自分からはできない児童もいる。来客時など意識づけるように声がけをした。児童たちに挨拶を習慣づけるためにも、根気よく、児童の名前を呼んでの挨拶を続けていく。	
学校運営	家庭との連携	学級づくり・仲間づくり「神川っ子」「なかよし週間・月間」児童理解	⑧考え、議論する道徳 ⑨週の初めに、みんなで体を動かし遊ぶ ⑩「なかよし週間・月間」重点的になかよし・自他の良さについて考え深める ⑪「相談ウィーク」児童の心に寄り添う	道徳では、友達の考えをていねいに聞くことに重点をおいて道徳の学習をしてきた。神川っ子の時間は、学級や学年で遊ぶことができた。朝遊んで楽しく一日が始められた。「なかよし週間」ではさまざまな行事をすべて「なかよし～」と銘打って、仲良く活動する意識づけができた。相談ウィークでは、この機会を待ち望んでいる児童がいることがわかったので、週間内に時間を設けて児童たちの話を聞いていきたい。		○			神川っ子の時間は楽しみな時間として週の初めに位置づいてきた。月曜日の祝祭日が多かったため、来年度は週の初めに極力位置付けていく。 相談をじっくり行うには、1週間の朝の時間では足りない。そのため、次年度は6校時を相談の時間とし、自主学習や読書などの時間をあてて時数も確保しながら、担任と話をする時間が作れるように日課の工夫や期間の設定を行っていく。
		家庭との関わり PTA活動 SCとの連携	⑫保護者懇談会年2回による情報共有 ⑬「メディア教育」「安全教育」持続可能で系統立てられた指導（メディアコントロールウィークへの協力、家庭学習・お手伝いの習慣化） ⑭主体的に取り組むPTA活動	7月の懇談会で支援会議の打診をし、2学期になって支援会議を開催し、就学支援委員会で話し合い、次年度へつながった児童がいる。7月に懇談会を行った成果が出ている。メディアリテラシーの年間計画を作り、学年ごとの目標を決め実践できたことは、SNSのトラブル未然防止につながっている。		○			メディアコントロールウィークが家庭でのルール作りや決まりを守ることにつながるきっかけとして弱かった。メディアコントロールウィークは、中学校はテスト前に設定している。そのため、小学校とずれがあり、家庭の中で統一されていなかったことで、家庭の中で意識がしにくかった原因が考えられる。一中のテストに合わせて、東小とも期間を揃えて、家族みんなでコントロールする意識を作りやすくしていく。
	地域とつながる奉仕・交流活動 社会に開かれた学校 ふるさと学習	⑯「国分寺史跡公園全校清掃」「上田養護学校との交流」等地域とつながる活動 ⑰クラブ、学習支援、読み聞かせ ⑱神川に学び 神川で学ぶ	クラブ活動で、講師の先生方に指導していただくことで、教師が教えるのとは違い、専門的なところで指導いただいて、活動に没頭することができていてとてもよかった。山本鼎先生・ブラインドウォーク・命の学級・目の不自由な方のお話、バイパス・神川橋工事見学、みそ造りなどのふるさと学習や体験も充実した。	○				活動が軌道に乗って生きている。来年度は、そこでどんな力をつけるのか明確にしていきたい。コロナが5類となり2年目となるので、ふるさと学習の実践を進めながら、児童たちが主体的に取り組める新たな題材の掘り起こしもしていく。	
	研修	授業改善の研修	⑲児童の見方や関わり方・指導法・地域について主体的に学び合う ⑳児童理解の時間と対応策	児童理解の時間を取ることができているおかげで、全校の支援が必要な児童の様子がよく分かり、対応に迷うことが少なくなった。	○				研修を通して教員として必要な視点を磨くことができていると感じるので、引き続き非違行為防止研修、児童理解につながる研修、地域を知る研修、教員の資質向上・指導力向上研修を重ねていく。

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった